



Take Action

～伝えよう日本・学ぼうアメリカ～

【教育委員会社会教育課】

平成 23 年度 下呂市中学生海外派遣事業

下呂市では米国アラスカ州ケチカン市とフロリダ州ペンサコーラ市との姉妹都市提携を生かして、中学生の国際交流を進めています。

今年も国際感覚の豊かな人づくりを進めようと、35人の中学生を両市へ派遣。現地の小中学生らと交流を深めました。

異国でのホームステイは生徒

たちにとって大きな試練です。この先の人生に大きな財産となったに違いありません。

またケチカン市からの訪問団は、下呂市の派遣団員の各家庭にホームステイし、日本の生活様式や文化を学びました。こうした交流が引き継がれることで、さらに結び付きが深まっています。



トーテムポール公園で



現地の中学生に東日本大震災を報告するケチカン派遣団員

◆ケチカン市

アラスカ最南端の自然豊かな町

◇派遣団…15人(金山中7、下呂中6、小坂中2)

◇派遣期間…4/26～5/9(14日間)

◆ペンサコーラ市

メキシコ湾に臨み白い砂浜が有名なリゾート地。アメリカ海軍航空基地のあるまち。

◇派遣団…20人(竹原中1、下呂中2、萩原南中9、萩原北中5、馬瀬中1、小坂中2)

◇派遣期間…4/27～5/6(10日間)



空軍の人たちと



市役所前で

◆ケチカン市からの訪問団

◇受入人員：15名

◇受入期間：6/4～17(14日間)

訪問団から市長に震災の義援金が預けられました。

姉妹都市からの

義援金

東日本大震災のニュースを受けて、ケチカン市の市民団体や学校では様々なチャリティーイベントを開催し、義援金を日本赤十字社へ送っていただいています。また派遣団滞在中に同市を訪問した箏曲正絃社・今井智映子さん(金山町)と地元コーラス団体が共催したチャリティーコンサートでも多くの義援金が寄せられました。姉妹提携やこれまでの交流が、こんなところでも実を結んでいます。